

横浜市立鴨志田中学校 食育の全体計画

令和4年4月改定

- 職員の願い
- 児童・生徒の願い
- 地域・保護者の願い

- 【学校教育目標】**
- 感動を分かち合おう【徳・公】
 - 目標を高く掲げよう【知・開】
 - 真理を追究しよう【体・知】

- 日本国憲法
- 教育関連法規
- 学習指導要領
- 横浜版学習指導要領
- 食育基本法
- 食育推進基本計画
- 教育委員会の方針

食に関する指導の目標

- ① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。＜食事の重要性＞
- ② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。＜心身の健康＞
- ③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。＜食品を選択する能力＞
- ④ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心をもつ。＜感謝の心＞
- ⑤ 食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。＜社会性＞
- ⑥ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。＜食文化＞

各学年の発達段階に応じた食教育の目標

	1 学年	2 学年	3 学年
【幼稚園・保育園】 幼稚園・保育所との連携			
【小学校】 鴨志田緑小学校、 鴨志田第一小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生に必要な栄養や、食事のあり方を理解し、自己の食生活の課題を見つけ改善できるようにする。 ○楽しく食事をすることが心身の健康に大切なことが分かる。 ○健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする。 ○生活の中で食事が果たす役割や健康と食事との関わりを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく食事をすることが、人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながる事が分かる。 ○食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせる食べることの大切さを理解し、一食分の食事を考えることができる。 ○安全や衛生に気を付けながら、正しいマナーで食事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品に含まれている栄養素や働きが分かり、品質の良否を見分け、適切な選択ができる。 ○食品の生産、流通、食費について正しく理解することができる。 ○食文化や歴史と自分の食生活との関連を考えることができる。
			【高等学校】 高等学校との連携

特別活動		前期	後期
		<ul style="list-style-type: none"> 昼食指導（楽しい食事・衛生に気をつけて食事をしよう）はま弁や自宅から持ってくるお弁当を通して、自己の課題や食のバランスを理解し、成長期の食生活をより良く主体的に考えられるようにする。 自分の体について知ろう。栄養バランスのよい食生活について調べてみよう。 身体計測、健康診断、自然教室、遠足、修学旅行、教育相談期間 個人面談、夏季休業【後期に延期】 組織作り、年間活動計画作成、保健委員会、健康調査、明るい学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食指導（食事マナーを身につけよう・感謝して食べよう）はま弁や自宅から持ってくるお弁当を通して、自己の課題や食のバランスを理解し、成長期の食生活をより良く主体的に考えられるようにする。 自分の食生活と健康について考えてみよう。栄養バランスのよい食生活について調べてみよう 個人面談、職場体験、ボランティア体験、文化祭、合唱コンクール、教育相談、学校保健委員会、授業参観 保健委員会、朝食コンテスト、健康調査、食や健康に関する生徒集会、明るい学校づくり

教科との関連		1年	2年	3年
		<ul style="list-style-type: none"> 社会的分野 (1)世界の様々な地域 (2)日本のさまざまな地域 歴史的分野 (2)古代までの日本 (3)中世の日本 (4)近世の日本 (5)近代の日本と世界 (6)現代の日本と世界 歴史から日本の食文化や食生活を知り、地理では食材関係する農業・漁業・世界との輸出・輸入について学び、フードロスや遺伝子組み換え食品や食の安全や価格がどのように世界と関係しているかを理解する。世界の食材についてのフェアトレードや、漁獲量の削減による海を豊かにするための養殖への転換など社会の動向への理解の基礎を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民分野 (1)私たちと現代社会 (2)私たちと経済 (3)私たちと政治 (4)私たちと国際社会の諸課題 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 第2分野 (1)植物の生活と種類 (3)動物の生活と生物の変遷 (7)自然と人間 食品を身体に取り入れていく仕組みや、食物連鎖などの動植物のつながりを理解する。これからのバイオテクノロジーなどにも興味をもつ。遺伝子組み換え・バクテリアなどの働きによるたんぱく質、宇宙空間での食についての期待につながる興味関心を持たせる。 			
保健・体育	<ul style="list-style-type: none"> 心身の発達と心の健康 健康と環境 健康な生活と病気の予防 			
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> B 食生活と自立 (1)中学生の食生活と栄養 (2)日常食の献立と食品の選び方 (3)日常食の調理と地域の食文化 C 身近な消費生活と環境 (2)家庭生活と環境 お弁当の献立を考えたり調理実習を通して自分で作る。食品や食事を作ってくれる人への感謝できる。 SDGs 関連の環境や、食糧自給率のことや自国の状況や食の安全について理解する。 			
総合的な学習	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食文化、食文化の継承について調べる おいしい鴨志田米をつくらう 修学旅行を通して、京都の食文化を体験する 保健集会【朝食コンテスト】を実施して朝食に対して時短、栄養バランスなどに意識を持って食するようにする。 			
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 1 主として自分自身に関すること (1) 2 主として他の人のかかわりに関すること (1) (2) 3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること (1) (2) 4 主として集団や社会のかかわりに関すること (5) (6) (8) (9) (10) 			
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより、保健だより、家庭教育学級、学校保健委員会、食に関する講演会、食物アレルギー等の個別相談、地域の食育活動との協働、企業・団体との連携 			
地場産物活用の方針	<ul style="list-style-type: none"> 地場産野菜を購入し、調理実習等で利用。 			
個別相談指導の方針・取組	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断、保健調査票の結果、日常生活の様子等から必要に応じて個別相談指導を行う。 日常生徒の様子を十分把握し、配慮が必要な生徒については、医療機関、保護者との連携を図る。 保護者の申し出により、学校長、学級担任、校医、養護教諭で食物アレルギー等の対応を検討する。 			
部活動	<ul style="list-style-type: none"> 食を通じた体づくり・健康づくりと食の安全を推進します。朝練習の捕食などを準備して午前中のエネルギー補強をする。 			